

## 初詣

いたしました。新年には新しい心によって、新しい希望のもとに出発する決心を持たなければなりません。希望があればどんなに苦しい状況のなかでも、あかるさをたもつことができます。

初詣の方はそれぞれ願い事があり、それはさまざまです。勉強が出来るようになりたい、スポーツで上位になりたい、おこづかいがほしい、良い友達がほしい、良い高校、大学に入りたい、良い恋人がほしい、良い結婚相手が見つかるように、病気になるように、家族が仲良く暮らせるようにということになります。



昔は生きていく家族だけでなくて、仏壇のなかにいる先祖様と一緒に暮らし、頂き物はまず先祖様にあげて、それから家族で分かち合って食べました。家があり家族があるというこごらうい幸せなことはなく、一番大切なことです。初詣祈願のなかで一番多いのは、そうした意味で「家内安全」ということになります。

初詣とは新しい年に向かって、心を込めて「がんばるぞ」と誓うことなのです。神や仏に会って約束をするということなのです。

新年を迎え、例年の通り聖天様で本年もよい年でありますようにと檀信徒一同の幸せを祈願

平成二十一年十二月三十一日撮影



### ついでに 人生は幸せ探す長い旅

命がけより心がけ

### (安心) あんじん

仏法の功德にたまわる精神的安楽の境位を「安心」という。この語を最初に用いたのは、唐の善導大師であるが、これを流布したのは、真宗の蓮如で、念仏の信を「安心」と呼んで、不安を超える道を人々に指し示した。

### 仏教が生んだ日本語



### 空海の言葉 シリーズ

昇墜は他の意に非ず、  
衰榮は我が是非なり

地位が昇進するのにも名誉が失墜するの

も、周りの人のせいではなく、自分の心がけによる。事業が衰えるのは、自分の行動が悪いからであり、栄えるのは自分の行動がよいからである。

新聞の社会面では、毎日のように犯罪事件が報じられています。

いつでも世のため、人のためになることを考えて、お互いに助け合って共生する精神を心がけ実行することによって、人々が人間のあるべき姿を感じ、悦び安らぐことになるならば、まさに「生かせいのち」の本来的な意義が最高に達せられることになるのです。

